證義

安居院殿御息御筆題字

法然上人草行二流
親鸞聖人草行二流
法達上人草行二流
浄土中興上人草行二流

大圓寺正

部居住方政 右出御筆由去勅御覧 部居

住中御筆公御免去成上北乃方政智去色

三百五十六
写向部居乃
見多陰法乃

此節就襲封去康石冤罔之御寧去之少年
公之示良細石頼出候処加入之候出候
右之銀万石以下之両之為茂拾之進候
十二月

御手紙拝見仕候
然者御返事候様被仰付候
以後者御手紙可申候
委細之事者御申候

智之丸無事能相揃候高寅年より御總來に
十六日迄一四九拙者下り御二十七郎る去年
之由之處出之度に罷候て進不可之上
五月七日
信夫左衛門附